



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2009年（平成21年）10月15日号 No. 1476

目次

■ 経済危機以降のロシア・アパレル市場	芳地 隆之 1
■ トピックス	6
三井物産と三菱商事、サハリン2向け融資 / 6	
住電スチールワイヤーがロシア認証取得 / 7	
道銀がサハリンでセミナー開催 / 7	
日ロ間の4島安全操業妥結 / 7	

経済危機以降のロシア・アパレル市場

ロシアNIS経済研究所 調査役

芳地 隆之

はじめに

カジュアル衣料品店「ユニクロ」を展開する株式会社ファーストリテイリングが、2010年春にロシア1号店をモスクワにオープンする準備を進めている。モスクワ最大のアパレル・チェーン目指すというユニクロは、アパレル分野への進出というだけに留まらず、ロシアにおける日本企業の本格的な小売事業として注目されている。2008年秋の経済危機以降、高級ブランドの売上が低迷しているといわれるなか、日本のカジュアル衣料品への期待はロシア国内で非常に高い。そこで今号では、ロシアのアパレル市場の現状と今後の見通し、そして日本の繊維関連企業のロシア市場進出の可能性について述べてみたい。

ロシアの衣料品市場の規模

ロシアの衣料品市場は2000年代に入って急速に拡大した（表1）。とくに2004～2006年には婦人・紳士・子供の各服とも前年比で2ケタの伸びを記録。その後は増加率が1ケタ台となり、2008年秋の経済危機後はさらに鈍化するものの、2008年における市場規模は502億ドル（婦人服：278億ドル、紳士服：152億ドル、子供服：72億ドル）にまで拡大している。